

ウィーンの力持ち

ウィーンの朝が明けるのは早い。とはいっても日の出の話ではなく、日常生活のペースの事だ。

ウィーンには日本のような新聞配達システムはない。朝刊は街角に立っている新聞売りからタバコ屋さんで買うのだが、タバコ屋さんが店をあげるのが朝の6時か7時。

パン屋さんも真夜中からその日のパンを焼き始め、早朝には焼きたてが店頭にも並ぶ。食料品なども朝早くから買うのに困る事はない。

始発のシュトラーセンバーン(路面電車)や路線バスが動きはじめるのは朝5時過ぎだが、こういった早朝の公共交通機関はいつも混み合っている。それもそのはず、工場などが始まるのは大体朝7時頃からだし、役所やオフィスなどの8時始業も当り前だ。

そのかわり早い時間から始まる仕事、特に肉体労働をとまなう職種は夕方まだ明るいうちに終業と

なり、いきおい夕方のラッシュユアワーは午後4時すぎからとなる。

このような労働者達が床に入るのも相応に早い時間となり、夜の9時半過ぎにテレビで面白い番組



運送の準備は明け方から始まる

3台のグランドピアノを積んで走りだすころ、夜は明け始まっていた

門だが、いやおうなしにたたき起こされる事も少なくない。

そのひとつは煙突掃除屋さん。オーストリアでは公認の煙突掃除屋さんに年何回か煙突をチェックしてもらおうのが国民の義務になっているが、こういった人達は大抵朝7時ぐらいにやってくる。

ガスや水道修理の職人もそう。騒音をともなう道路工事さえ、遅くとも朝7時には情け容赦なく開始される。

普通の家庭でそうしばしばある事ではないが、ピアノの運送屋も毎朝早々とその仕事を開始し、店や家庭を訪れる。

ピアノは重量のある楽器で、引越しの際も専門の業者に依頼する事にならざるを得ない。今回取材に協力してもらった「ヘングスター」という会社もそのひとつで、ピアノ運搬専門業者として創業75年の歴史を誇る、業界の老舗である。ベーゼンドルファー社がウィーン市内で必要とする運搬業務もほぼ一手に引き受けている。

日本だとピアノを運送する時には楽器を布団などで梱包し、傷つかぬように細心の注意が払われる。

ウィーンの場合はいたって簡単、台車ひとつと肩にかかっただけ

が放映された時など、新聞の読者欄に掲載されるテレビ局への苦情がとたんに増える。

自由業を営む私のような人間にとってこのような朝早い時間は鬼

使う幅広のロープ、これだけあれば、たいがいの楽器は男ふたりで運んでしまう。

たとえ雨が降っても、ちょっとありあわせのシートをかぶせる程度だ。グラランドピアノの蓋ははずして運ぶので、多少の水滴が楽器内部に入ることもあるが、些細な事にはこだわらない。

ピアノ運送にはペダルや脚のはずし方などをはじめ、ある程度

専門知識が必要だ。とは言っても、ピアノを運ぶのに何よりも大切なのは筋力。ウイーンをはじめとしてヨーロッパの古い建物には、荷物用エレベーターが完備している所などそうざらにはない。コンサートホールでさえ、ピアノ搬入は人力を頼りに、階段をかつぎ上げなければならぬ事が多い。

ヨーロッパの建造物は天井が高いだけあって階段の段数も多い。

一步一步ふみしめて登っていくのを見ているだけでも手の平が汗ばみそうになる。それでもやはり西洋人は身体が大きい分だけ力持ちなのだろうか？

東洋人と西洋人の体格が本質的に違うことぐらいは見てもわかるが、体質にもかなりの差があるようだ。

ヨーロッパでは信じられない程肥満した人をよくみかけるが、あ



階段をかつぎ下ろす



裸のピアノをトラック後部へすり入れる

れほどの太り方は普通の日本人には望めども不可能だ。それでも膝から下、特に足首などは結構スマートなことが多い。スカートはやはり西洋で生まれた服なのだなあ、とあらためて感心したくなる。こうした体格は、もちろん音楽にも無関係ではない。

その差を一番切実に感じるのは歌手だろう。西洋人は胸に厚みがあり、肺活量も多い。そういう体

格をしているからこそ洋服も似合うのだ。

いくら歌が上手でも、日本人のテノールはステージでの視覚的押し出しにいまひとつ不満が残り勝ちである。相手役のプロマドンナの体格が立派すぎ、まるで蚤の夫婦のように見えてしまう不都合も、不可抗力とはいえない現実だ。

声においては、生粋の日本人と違って韓国人など大陸系の人間は

西洋人に通じるところがあるように、その質が似ている。日本の演歌歌手でも良い声の持ち主には大陸系のルーツをもっている人が多い。

ピアノも残念ながらもともとは西洋人のために作られた楽器である。本当は弦楽器と同じようにその人に合ったサイズのピアノ、というものがあってもおかしくはないのだが…。



今度は階段をかつぎ上げる



引越しが終わってひと息。力持ちの前で何となくピアノが小さく見える